

# 景気動向調査結果

(平成26年10月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業） 400 社）を対象に、平成 26 年 10 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 26 年 11 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、459 社（製造業 242 社（うち面接 63 社）、非製造業 217 社）で、回答率は 65.6 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2919）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

# 平成26年10月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、緩やかな回復基調が続いているものの、弱めの動きの広がりが見られます。

製造業では、設備投資が回復傾向にあることや、海外需要が堅調に推移していることなどから、電機・電子、一般機械を中心に、受注、生産が回復しているものの、円安傾向に伴う原材料価格の上昇などが懸念され、自動車部品の一部では国内向けの受注、生産が弱含んでいます。

非製造業では、前年同期と比べ、飲食業・宿泊業で持ち直しがみられたものの、個人の消費態度が慎重になってきていることなどから、それ以外の業種ではいずれも悪化しました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（25年10月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は0.0となり、前回調査時（26年7月）の14.8より14.8ポイント悪化しました。

3か月前（26年7月）と比較したD Iは $\Delta 7.6$ となり、前回調査時の5.0より12.6ポイント悪化し、2期ぶりのマイナスとなりました。

なお、3か月後（27年1月）の予想では、円安傾向に伴う原材料価格上昇への不安などを背景に、D Iは $\Delta 17.6$ となり、前回予想の $\Delta 2.9$ から14.7ポイント悪化しました。

### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、スマートフォン向けの需要は堅調に推移しているものの、パソコン関連は一部で弱含んでいます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産に回復が見られます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、一部に一服感がみられるものの、自動車関連向けや産業用途を中心に、受注、生産が回復しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産の増加が見られます。建設機械は、国内向けで、復興需要の継続などにより、受注、生産が増加しているほか、海外向けで、北米を中心とした需要の増加により、受注、生産が増加しています。

ウ 精密では、時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産の回復が見られます。レンズは、自動車関連向けで、受注の持ち直しがみられるものの、プロジェクター向けでは、製品価格低下による収益率の低下が見られます。計器は、自動車関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられます。

エ 自動車部品では、北米やアジア地域などの海外向けでは受注、生産が増加しているものの、国内向けの一部には弱含みも見られます。

オ 食料品では、味そは、需要期を控え、3か月前と比べ受注、生産の増加が見られるものの、原材料価格上昇による収益率の低下が見られます。酒類は、一部に受注の増加が見られるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。飲料は、消費税率引上げや天候不順の影響により、受注、生産に減少が見られます。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が37.0%と前回(41.5%)より減少し、「減少」とする企業が30.3%と前回(25.0%)より増加した結果、D Iは前回(16.5)より悪化し、6.7となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が21.8%と前回(27.3%)より減少し、「減少」とする企業が22.2%と前回(23.5%)より減少した結果、D Iは前回(3.8)より悪化し、△0.4となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が13.1%、「減少」とする企業が30.4%となった結果、D Iは前回予想(1.3)より悪化し、△17.3となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が38.8%と前回(43.1%)より減少し、「減少」とする企業が27.9%と前回(22.6%)より増加した結果、D Iは前回(20.5)より悪化し、10.9となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が24.6%と前回(28.8%)より減少し、「減少」とする企業が22.9%と前回(20.4%)より増加した結果、D Iは前回(8.4)より悪化し、1.7となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が13.0%、「減少」とする企業が31.1%となった結果、D Iは前回予想(△0.4)より悪化し、△18.1となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が9.3%と前回(9.6%)とほぼ同じになり、「安い」とする企業も32.1%と前回(32.2%)とほぼ同じになった結果、D Iは前回(△22.6)とほぼ同じ△22.8となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が4.2%と前回(5.0%)よりやや減少し、「安い」とする企業が11.3%と前回(18.3%)より減少した結果、D Iは前回(△13.3)より改善し、△7.1となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が3.8%、「安い」とする企業が18.6%となった結果、D Iは前回予想(△13.4)より悪化し、△14.8となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が4.7%と前回(11.2%)より減少し、「苦しい」とする企業が18.8%と前回(11.2%)より増加した結果、D Iは前回(0.0)より悪化し、△14.1となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が4.3%と前回(8.2%)より減少し、「苦しい」とする企業が14.5%と前回(6.4%)より増加した結果、D Iは前回(1.8)より悪化し、△10.2となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が3.4%、「苦しい」とする企業が20.6%となった結果、D Iは前回予想(△4.7)より悪化し、△17.2となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が21.0%と前回(25.5%)より減少し、「低下」とする企業が45.0%と前回(36.8%)より増加した結果、D Iは前回(△11.3)より悪化し、△24.0となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が10.4%と前回(13.8%)より減少し、「低下」とする企業が28.8%と前回(24.6%)より増加した結果、D Iは前回(△10.8)より悪化し、△18.4となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が5.1%、「低下」とする企業が37.3%となった結果、D Iは前回予想(△17.9)より悪化し、△32.2となりました。

## (7)製造業の業種別動向

### 電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) スマートフォン向けの需要は堅調に推移しているものの、パソコン関連では、一部で弱含んでいます。プリンターは、新興国を中心とした海外需要の増加により、受注、生産に回復がみられます。
- (半導体関連) デジタル家電向けで、需要の減少により、受注、生産の減少が続いているものの、自動車関連向けや産業用途では、受注、生産に増加がみられます。
- (プリント基板) 産業用途では、受注、生産ともに持ち直しています。情報機器では、スマートフォン向けで、海外需要の増加により、受注、生産が増加しています。
- (抵抗器・コンデンサ等) 家電向けの一部では、需要の減少を受けて弱含んでいます。自動車関連向けでは、海外向けを中心に、受注、生産が回復しているものの、エネルギー関連向けでは、受注、生産に一服感がみられます。
- (モーター等) 家電向けの一部では、アジアを中心とした新興国での需要増加により、受注、生産が回復しています。産業用途や自動車関連向けも、受注、生産が回復しています。
- (その他) カーナビゲーションは、国内向けでは消費税率引上げによる影響が一部には残るものの、円安傾向に伴う輸出環境の改善や、北米での需要の増加により、受注、生産に持ち直しがみられます。電源関連は、一部に需要の増加がみられるものの、低調に推移しています。

### 一般機械

- (工作機械) 自動車関連向けや半導体関連向けなどで、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産の増加がみられます。
- (金 型) 自動車関連向けは、受注、生産が低調に推移しているほか、収益率の低下もみられます。
- (建設機械) 国内向けで、復興需要の継続などにより、受注が増加しているほか、海外向けで、北米を中心とした需要の増加により、受注が増加しています。
- (農業用機械等) 海外向けで、北米での需要の増加により、受注、生産が持ち直しているとともに、国内向けの一部では、季節的要因により、受注、生産に持ち直しがみられます。

精 密 (時 計)	腕時計は、高価格帯製品を中心に、受注、生産の回復がみられます。
(レ ン ズ)	自動車関連向けで、受注の持ち直しがみられるものの、プロジェクター向けでは、製品価格低下による収益率の低下がみられます。
(計 器)	圧力計は、自動車関連向けで、受注、生産の持ち直しがみられます。LP ガスメーターは、季節的要因により、受注、生産の減少がみられます。
自 動 車 部 品	北米やアジア地域などの海外向けを中心に、受注、生産が増加しているものの、国内向けの一部には弱含みもみられます。
食 料 品	
(味 そ)	需要期を控え、3か月前と比べ受注、生産の減少がみられるものの、原材料価格上昇による収益率の低下がみられます。
(酒 類)	清酒、ワインは、一部に受注の増加がみられるものの、消費の低迷により引き続き低調に推移しています。
(飲 料)	消費税率引上げや天候不順の影響により、受注、生産に減少がみられます。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により、3か月前と比べ、生産が増加しているものの、収益率の低下がみられます。
紙 ・ パ ル プ	ダンボールは、農産物向けや食品製造業向けで、季節的要因により、受注、生産の増加がみられます。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産の増加がみられます。

## 3 非製造業

### (1) 業界の業況

非製造業のD Iは、前年同期と比べ、飲食業・宿泊業で持ち直しがみられたものの、それ以外の業種ではいずれも悪化しました。

前年同期（平成25年10月）と比較したD Iは $\Delta 34.1$ となり、前回調査時（平成26年7月）の $\Delta 31.0$ から3.1ポイント悪化しました。

3か月前（平成26年7月）と比較したD Iは $\Delta 24.7$ となり、前回調査時の $\Delta 11.1$ と比較すると13.6ポイント悪化しました。

なお、3か月後（平成27年1月）の予想は、D Iは $\Delta 36.9$ と前回調査時の $\Delta 16.9$ と比較すると20.0ポイント悪化する見通しです。

### (2) 各業界の動き

#### ア 建設業

建設業の業況感は、円安に伴う輸入資材価格や労務費の上昇などから、D Iが $\Delta 20.0$ となり、前回（0.0）より大幅に悪化しました。

3か月後は、慢性的な人手不足などによりさらに労務費の上昇が見込まれることから、業況の悪化を見込む企業の割合が増加しています。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業の業況感は、D Iが25.0となり、プラス水準ながら前回（50.0）より悪化しました。

受注環境が厳しくなっていることから、受注額は低下しており、収益率も前回調査時より低下しました。3か月後も、収益率の改善は見込めないとする企業の割合が増加しているものの、業況感はプラス水準で推移することが見込まれます。

#### ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業の業況感は、D Iが $\Delta 47.8$ と前回（ $\Delta 43.9$ ）よりやや悪化しました。

小売業では、前年同期と比べ、光熱費の上昇や競合店との価格競争などから、収益率の悪化が続いています。3か月後は、消費態度の慎重化や購買意欲の減少などから、業況は改善されないとする企業が多くなっています。

卸売業では、仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁することが厳しい状況がみられ、収益率が悪化しました。

#### エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業の業況感は、D Iが $\Delta 5.5$ と前回（ $\Delta 13.5$ ）から持ち直しました。

飲食業では、法人客の売上が順調だったことなどから、業況が改善しました。しかし、個人客の節約志向が続いていることもあり、3か月後は業況の悪化を予想する企業の割合が増加しています。

宿泊業では、前回調査時より業況、売上高ともに持ち直しました。しかし、3か月後は食材等の仕入価格の上昇などから、業況の大幅な悪化を予想する企業の割合が増加しています。

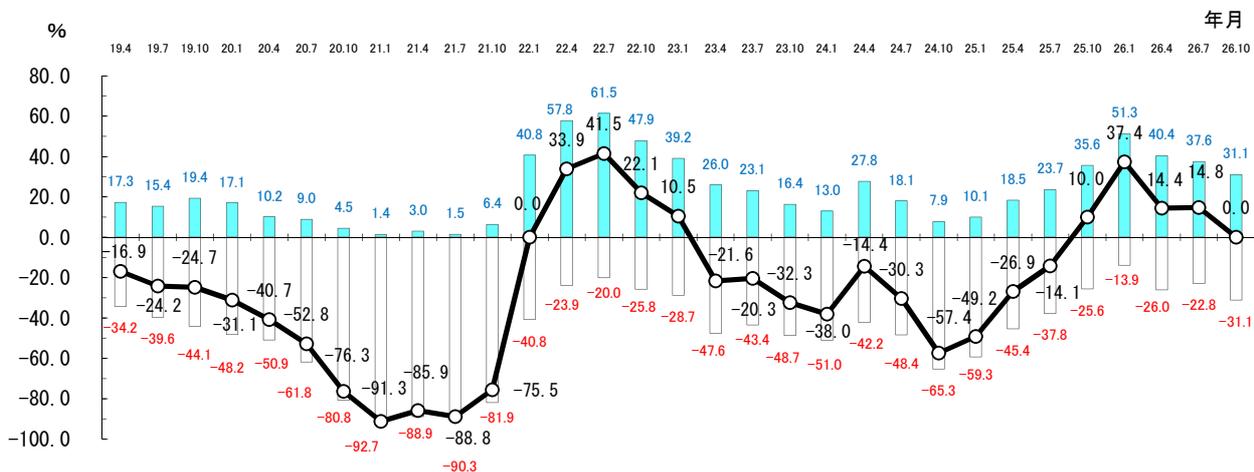
# 景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転(増加、上昇)の企業の割合、マイナス側は悪化(減少、低下)の企業の割合です。  
折れ線グラフ(DI)は好転(増加、上昇)の企業の割合から悪化(減少、低下)の企業の割合を引いた差です。

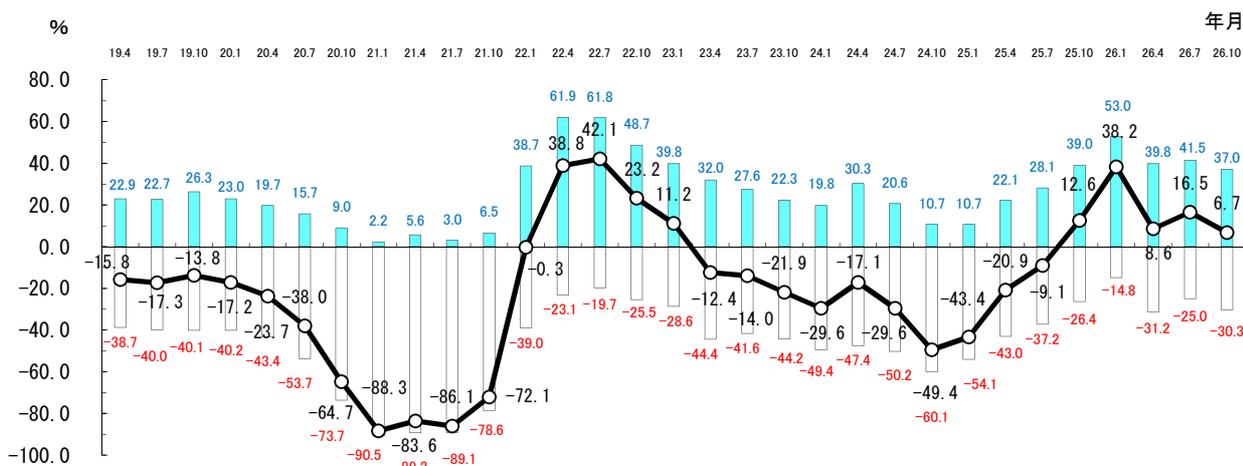
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

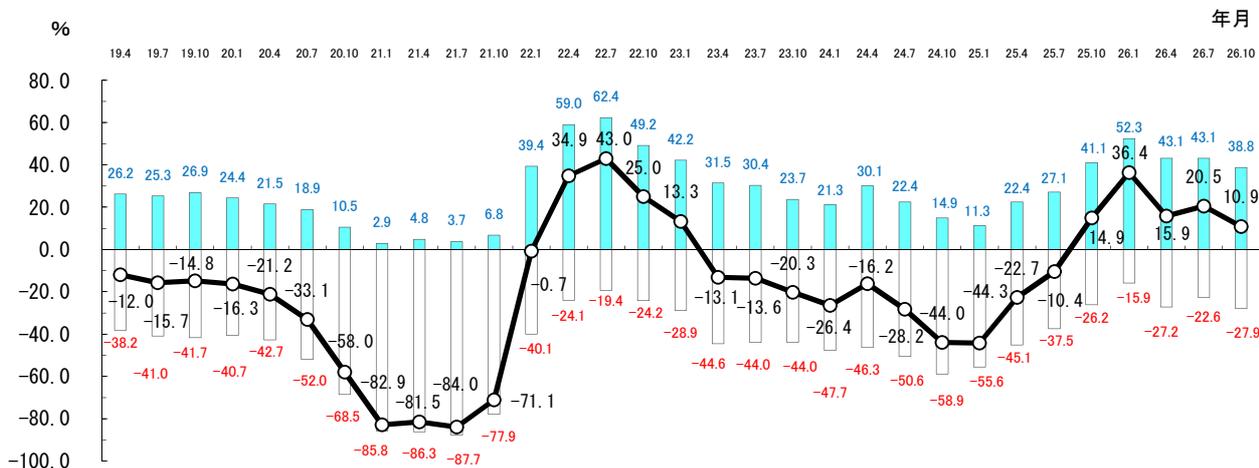
#### 業界の業況



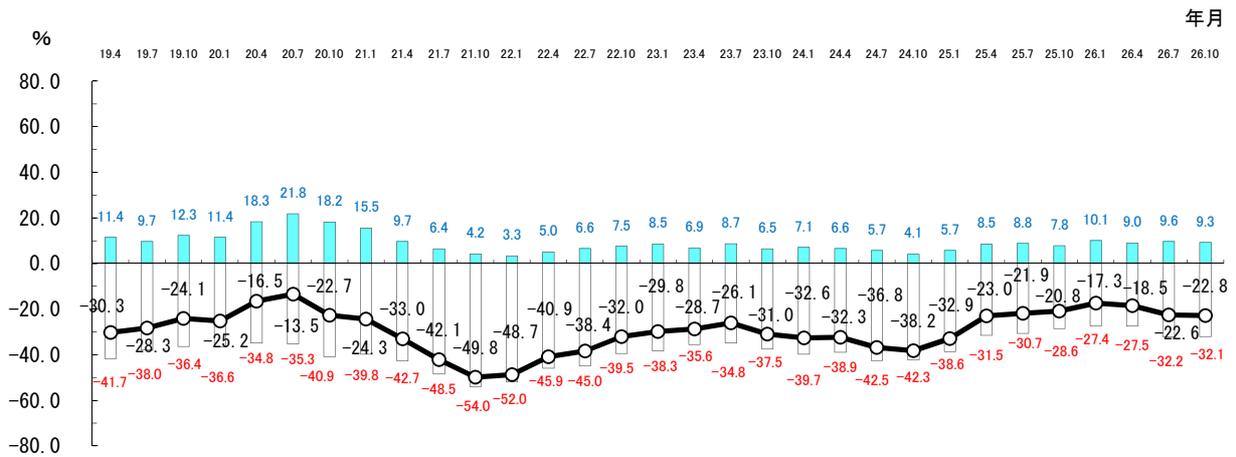
#### 受注引合



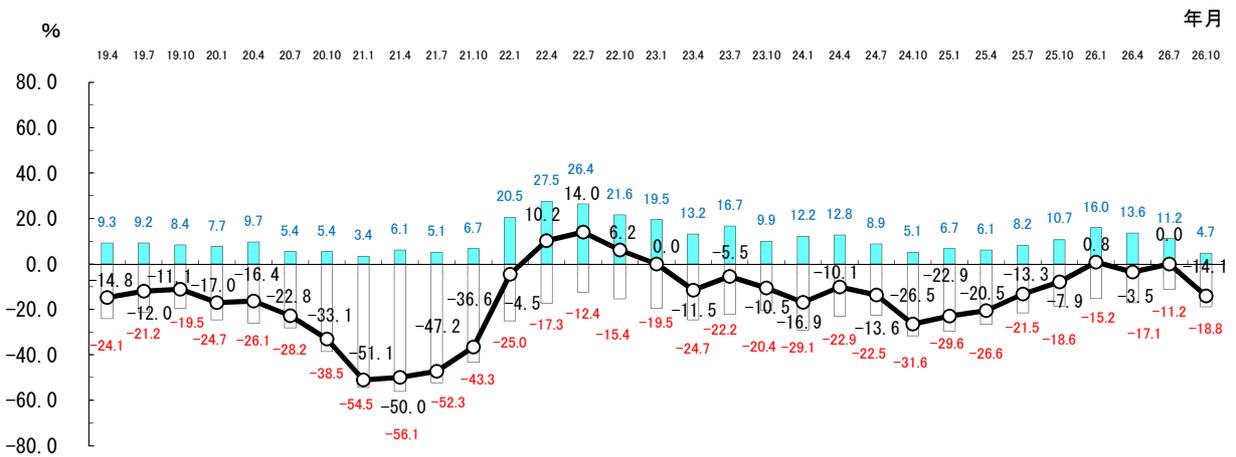
#### 生産量



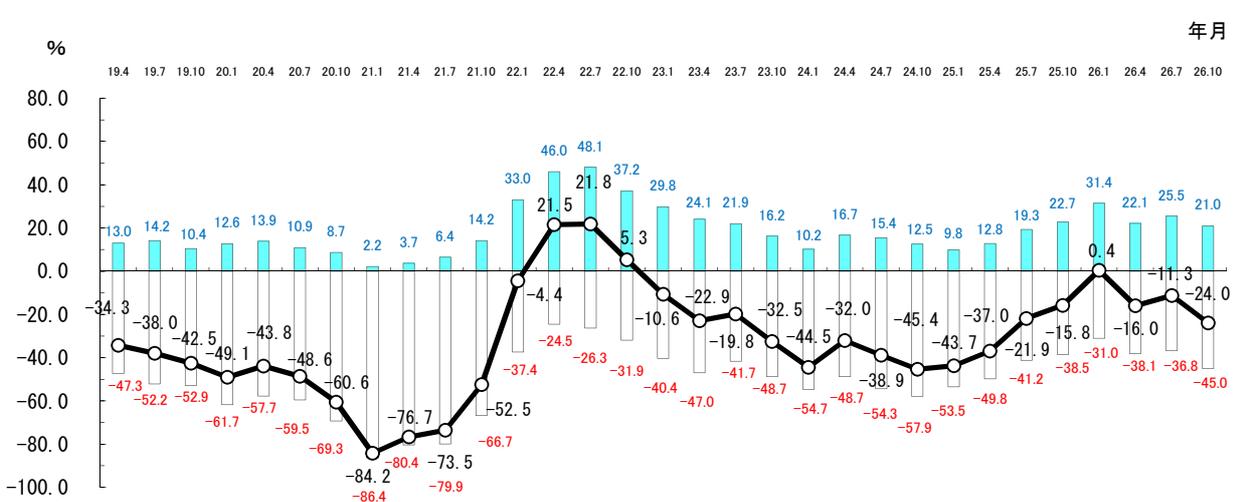
## 製品販売価格



## 資金繰り

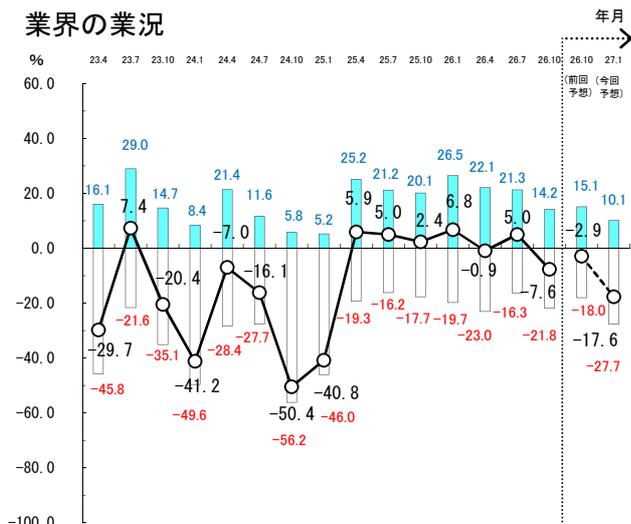


## 収益率

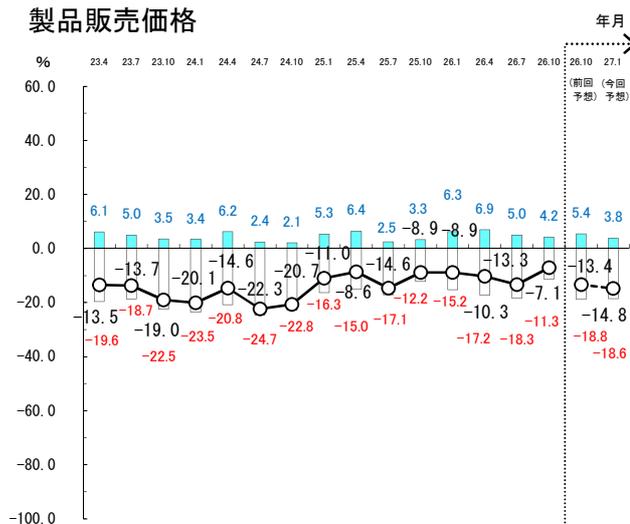


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

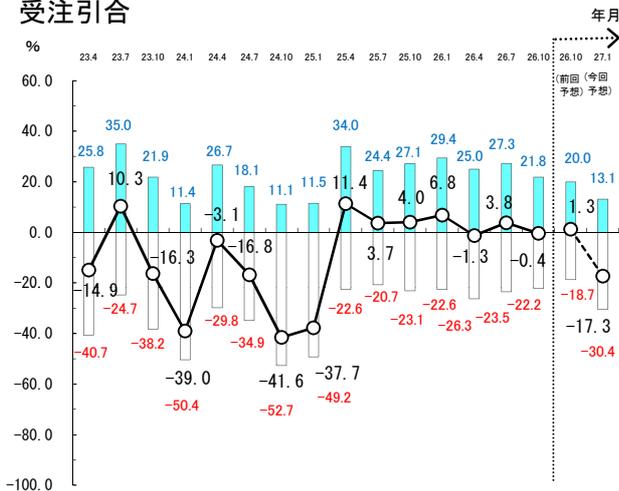
業界の業況



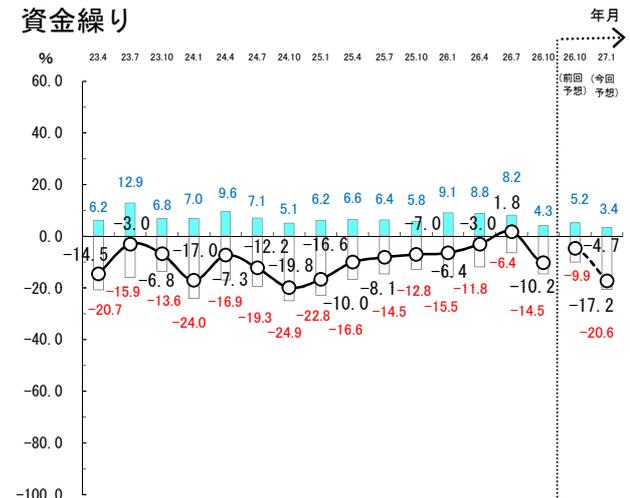
製品販売価格



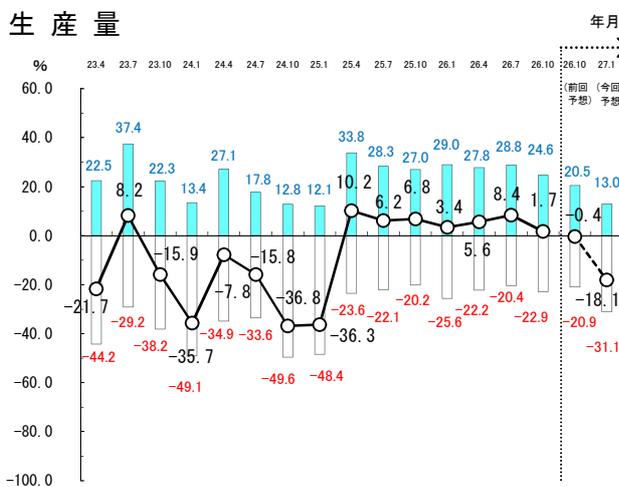
受注引合



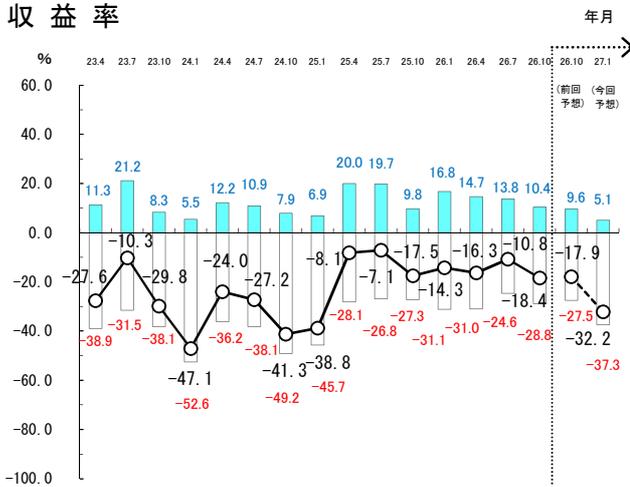
資金繰り



生産量



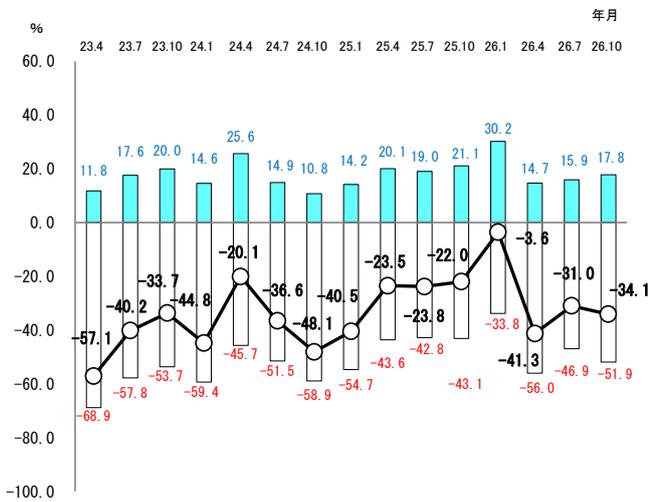
収益率



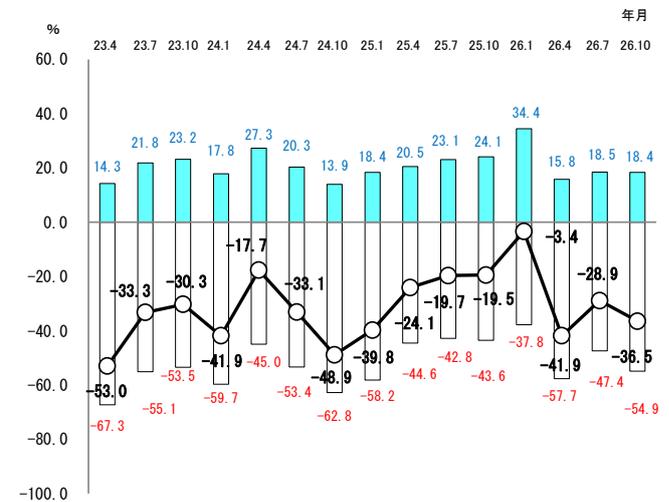
# 非製造業

## (1) 前年同期に比べて 非製造業全体

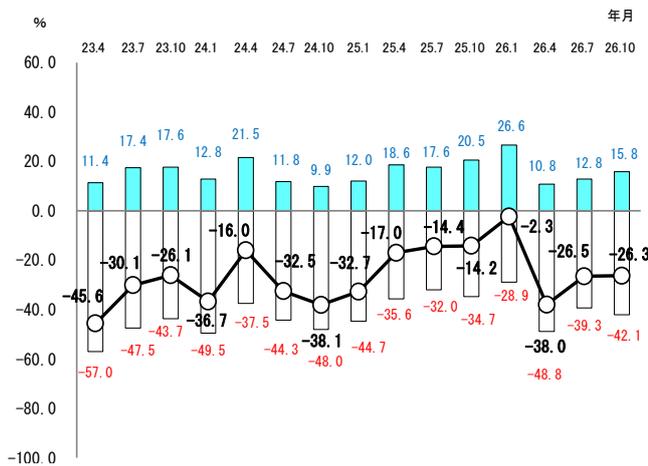
業況



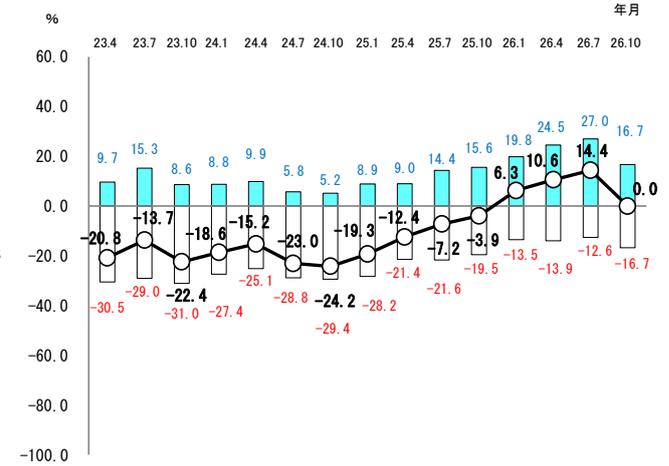
売上高



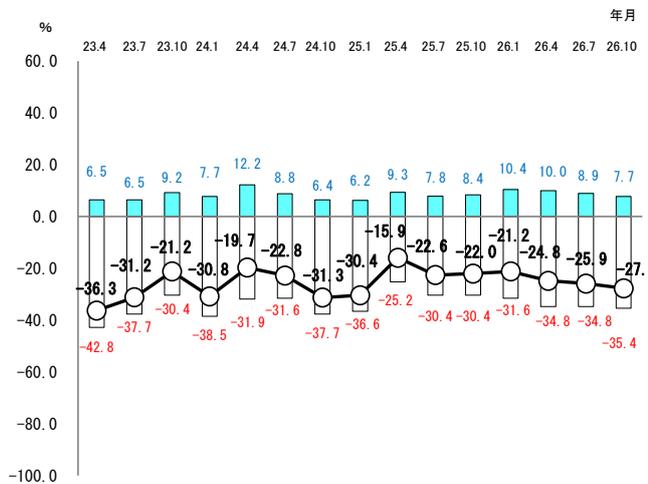
客数 (受注件数)



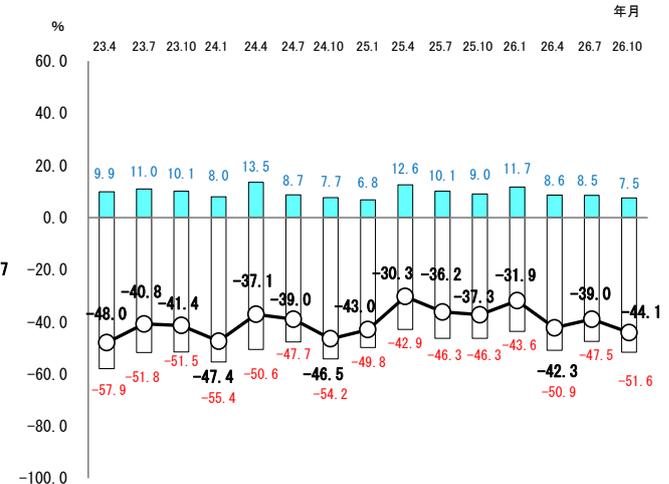
販売価格



資金繰り

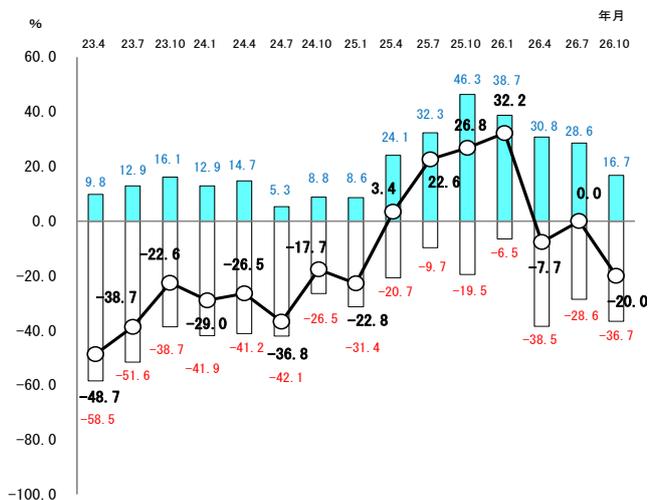


収益率

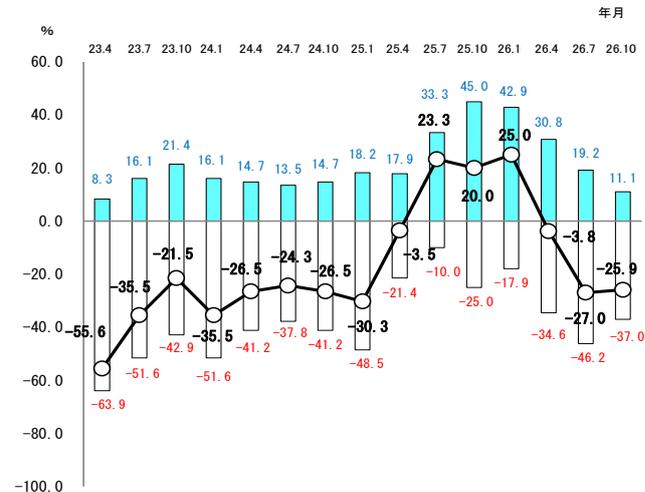


# ア 建設業

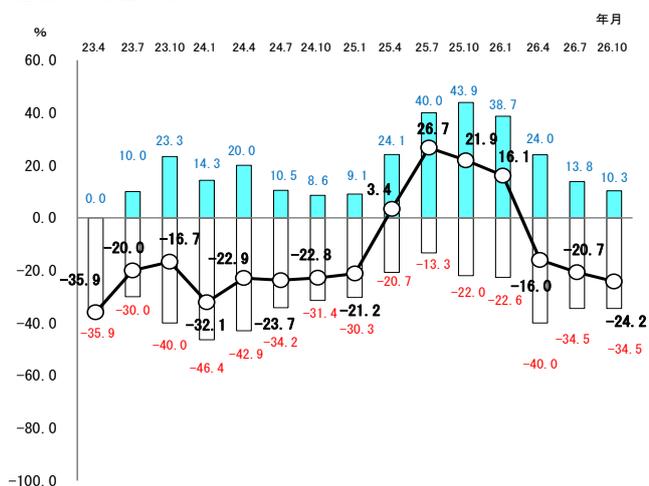
## 業況



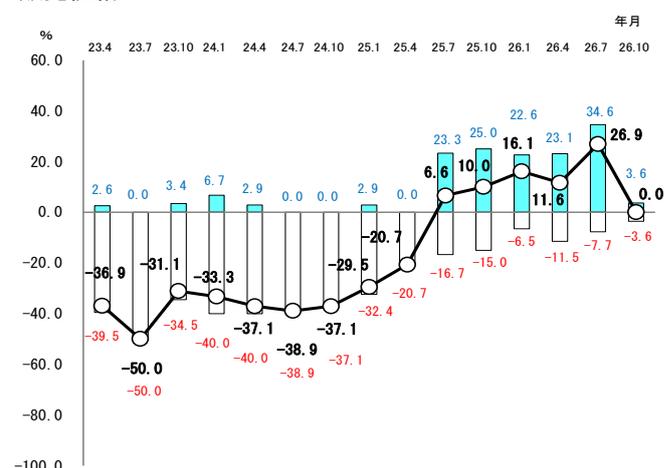
## 売上高



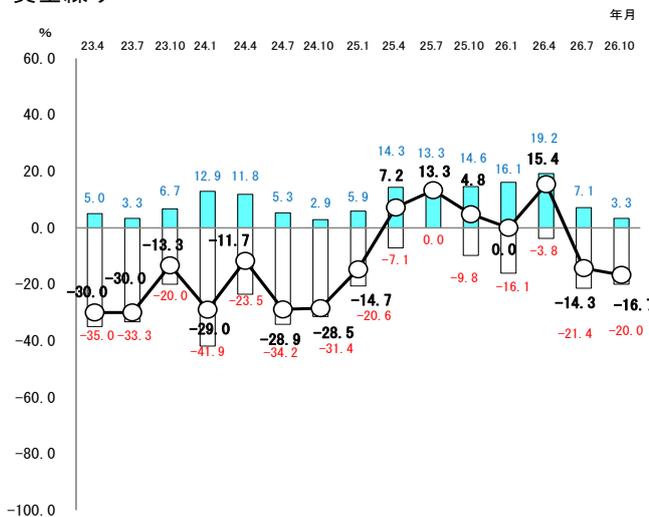
## 客数 (受注件数)



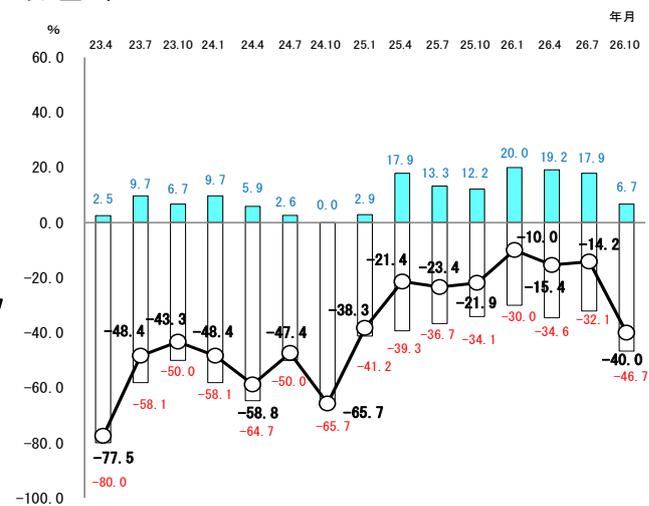
## 販売価格



## 資金繰り

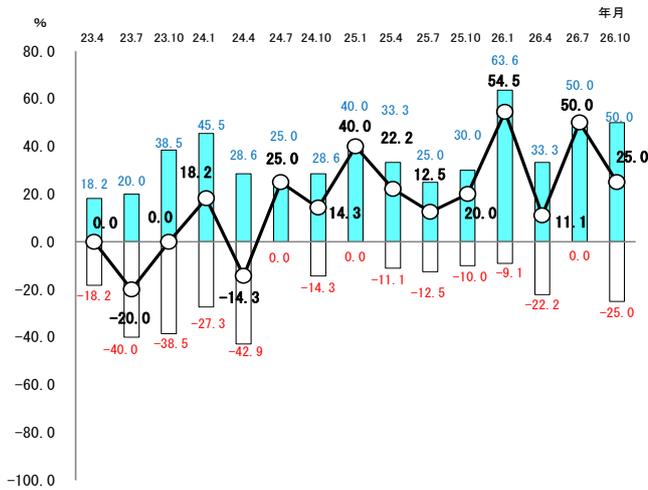


## 収益率

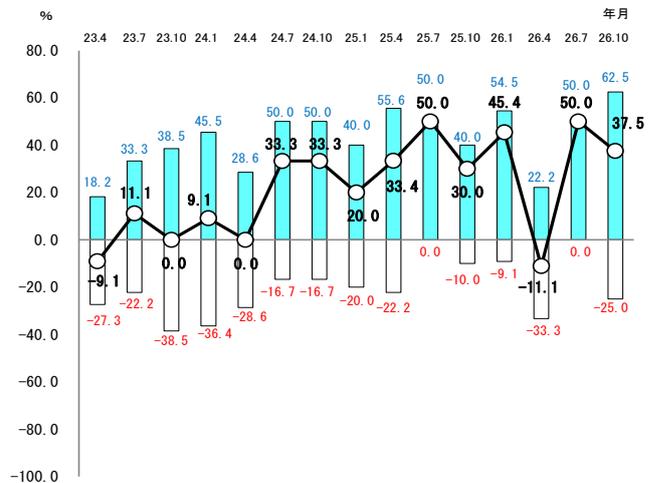


# イ 情報サービス業

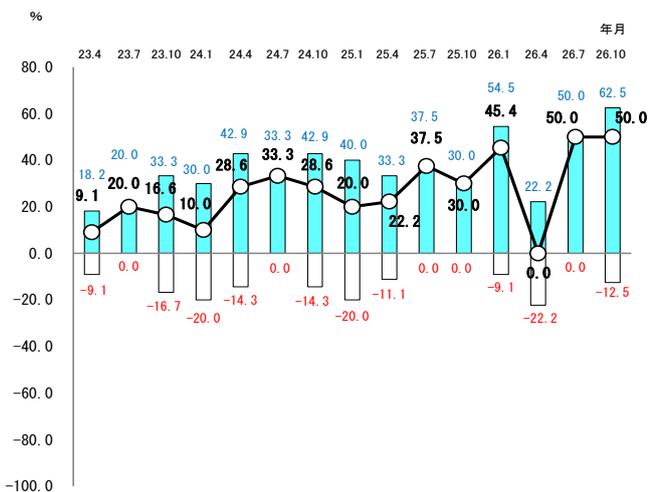
## 業況



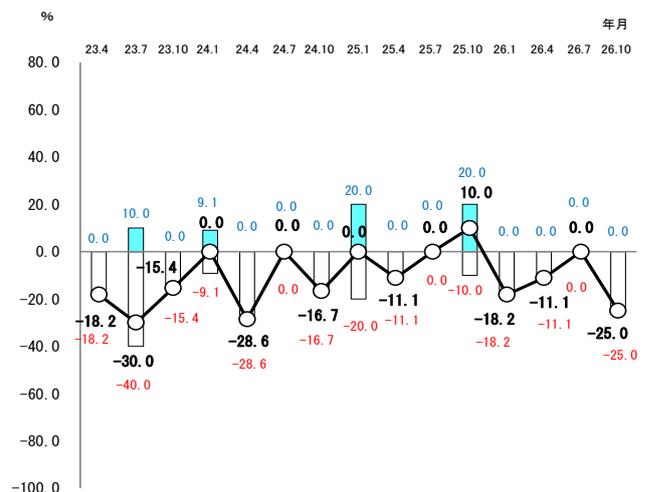
## 売上高



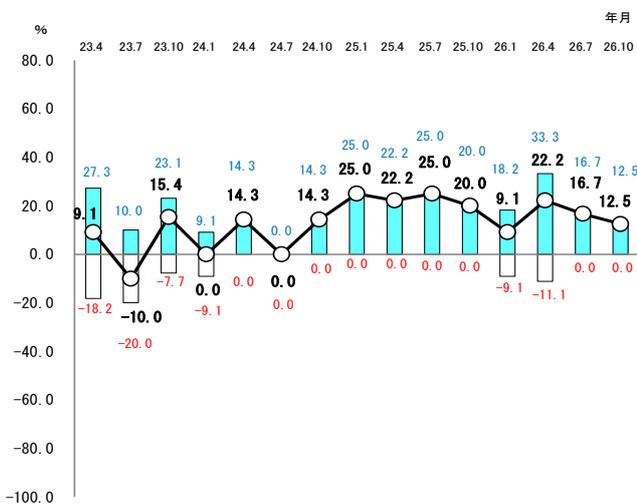
## 客数 (受案件数)



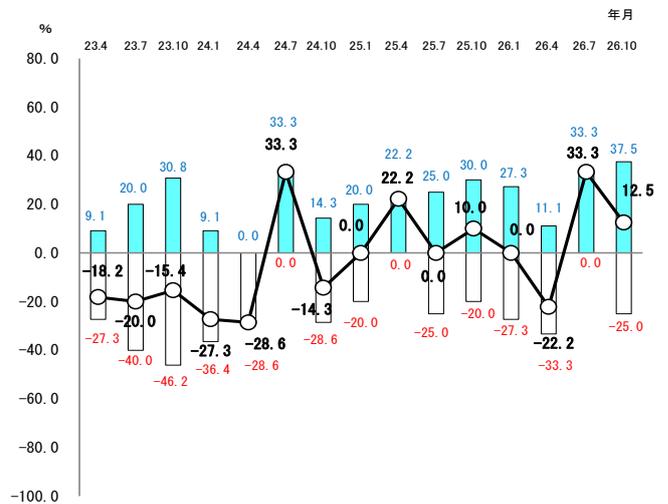
## 販売価格



## 資金繰り

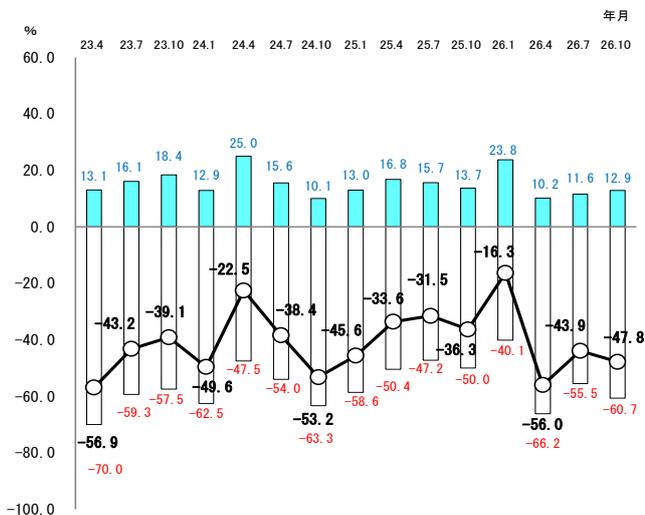


## 収益率

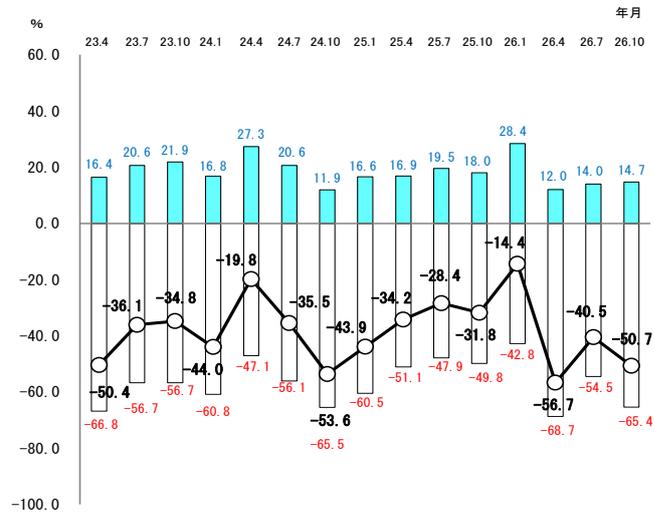


# ウ 小売業・卸売業

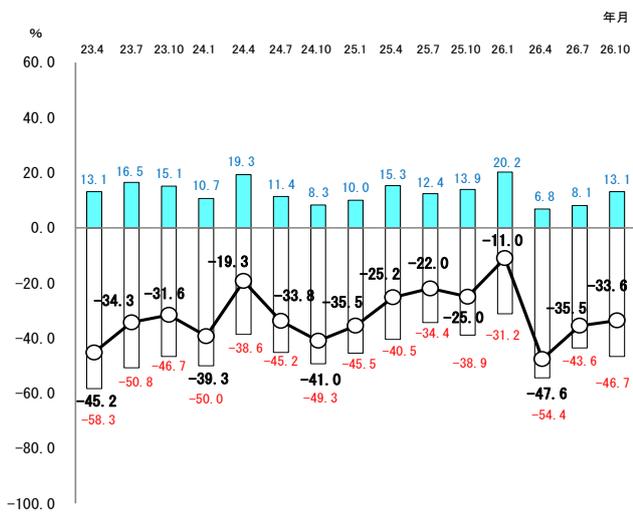
## 業況



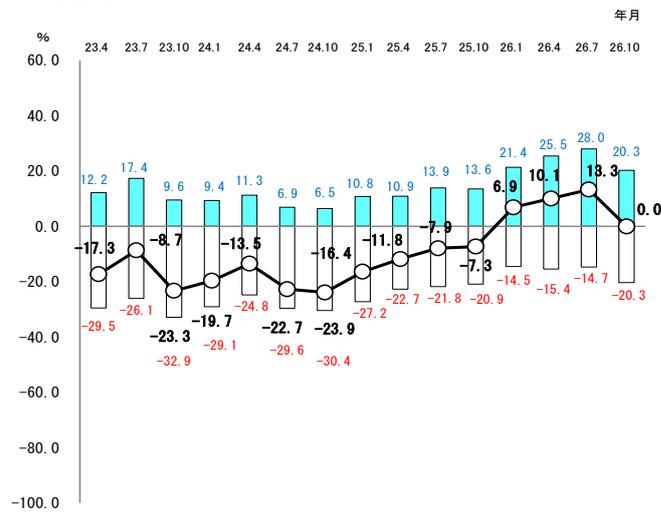
## 売上高



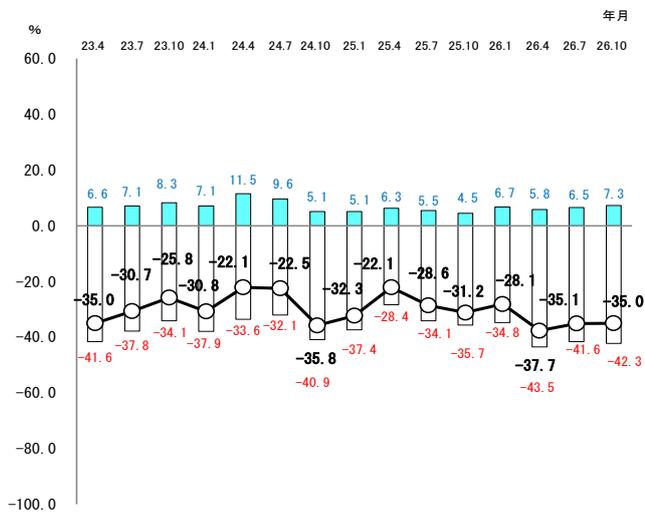
## 客数 (取引先数)



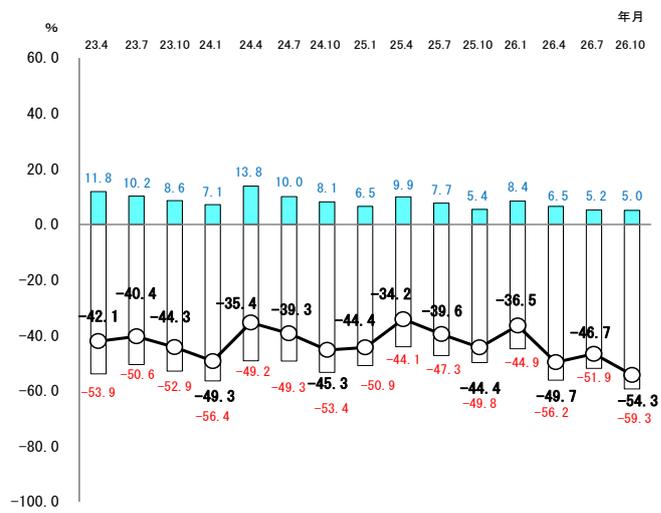
## 販売価格



## 資金繰り

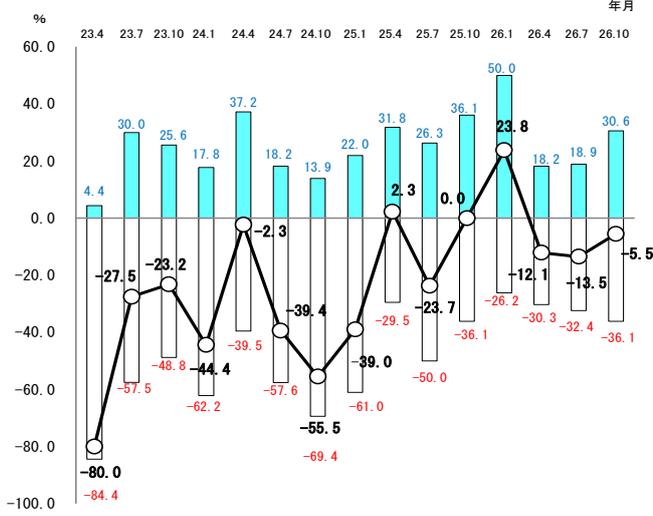


## 収益率

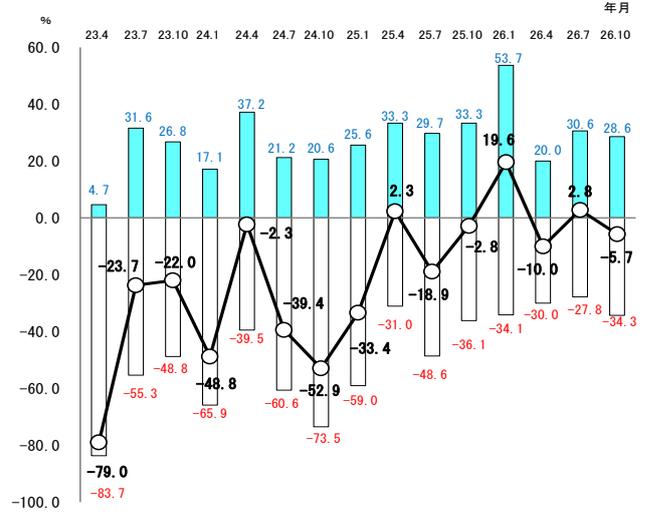


# 工 飲食業・宿泊業

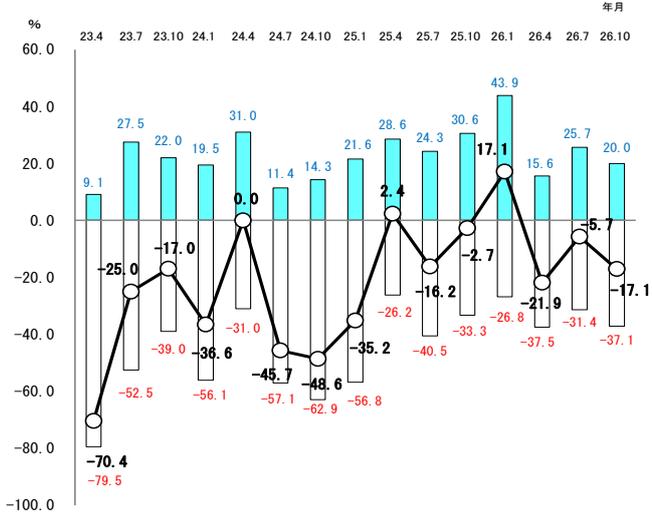
## 業況



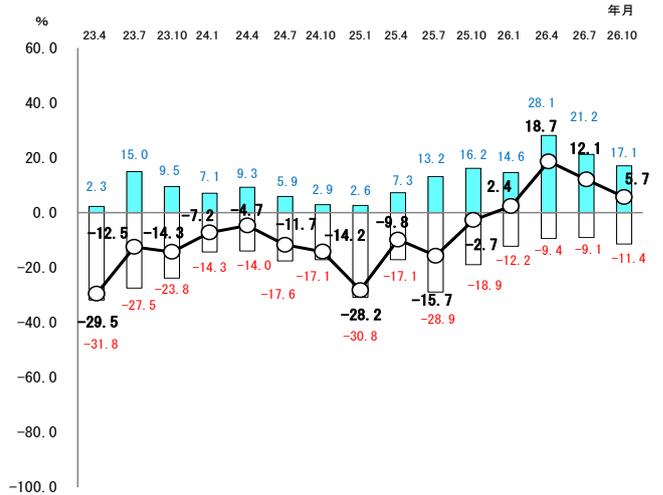
## 売上高



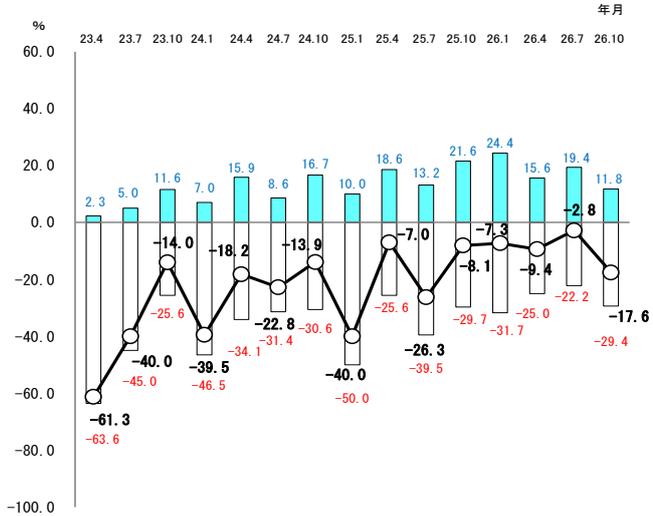
## 容数



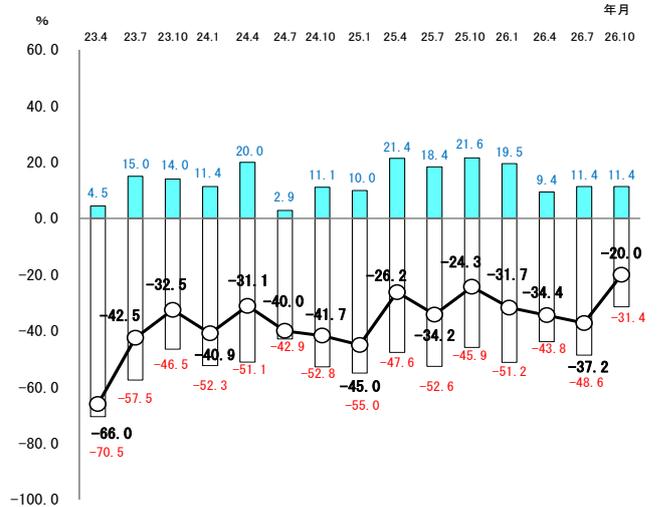
## 販売価格



## 資金繰り

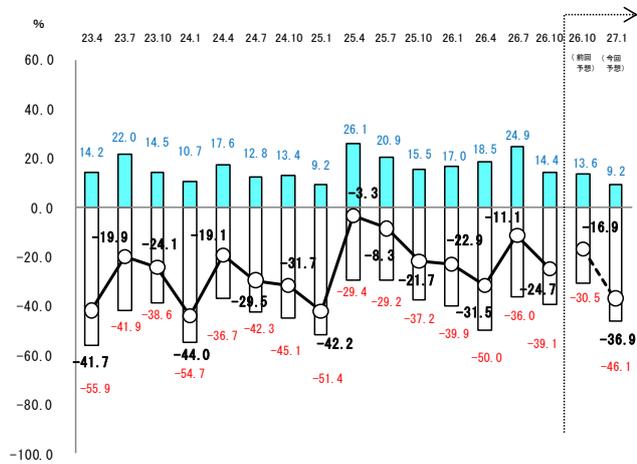


## 収益率

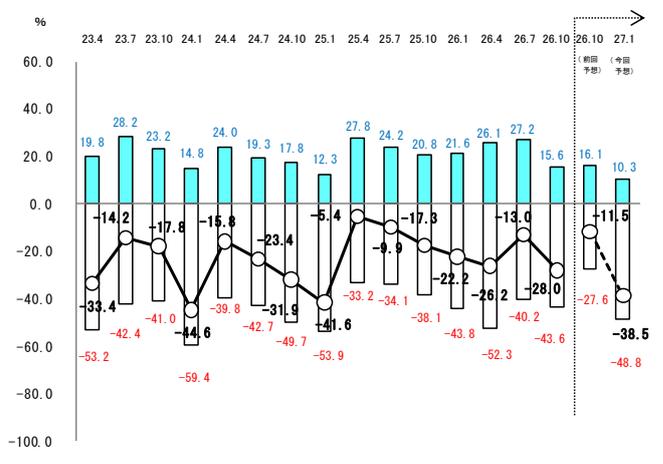


## (2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想 非製造業全体

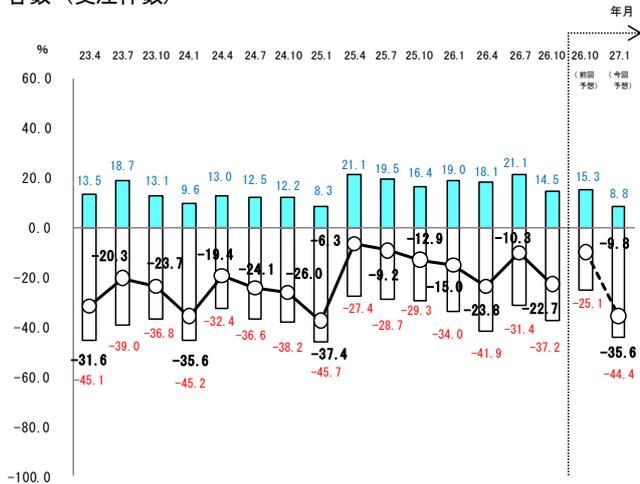
業況



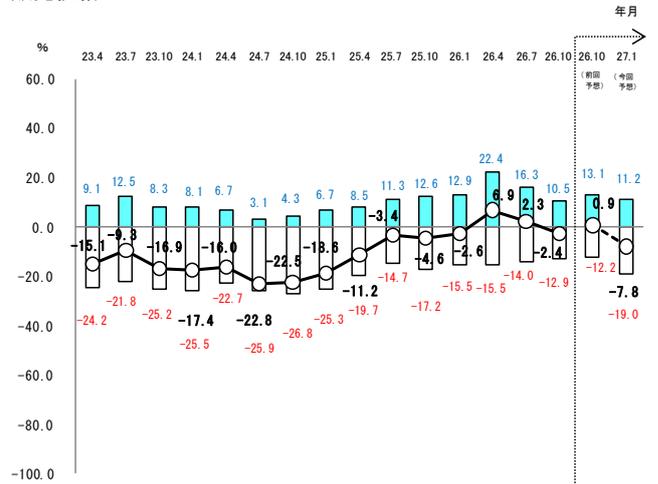
売上高



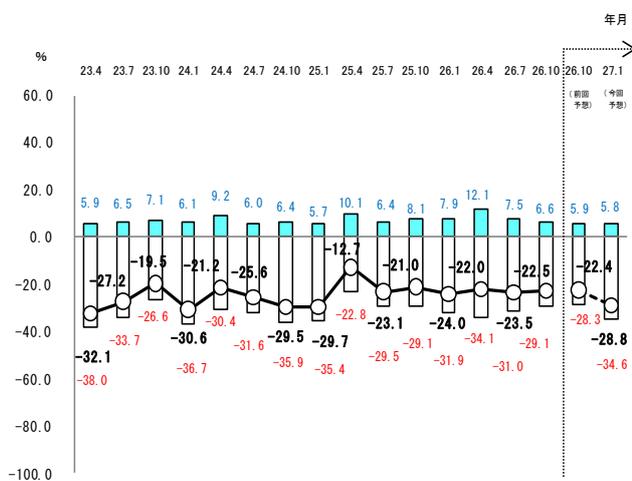
客数 (受注件数)



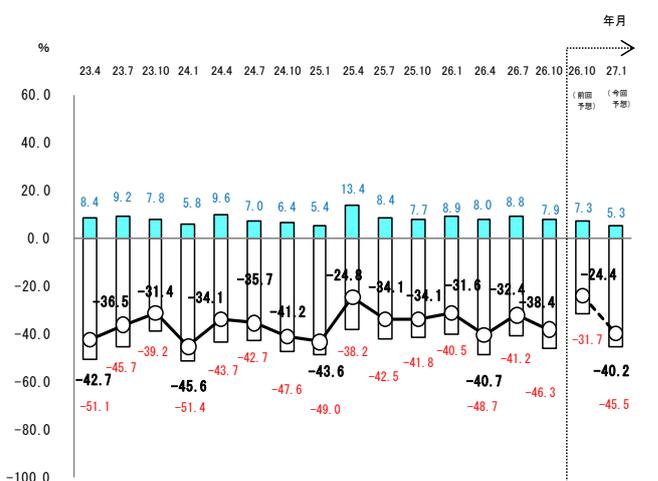
販売価格



資金繰り

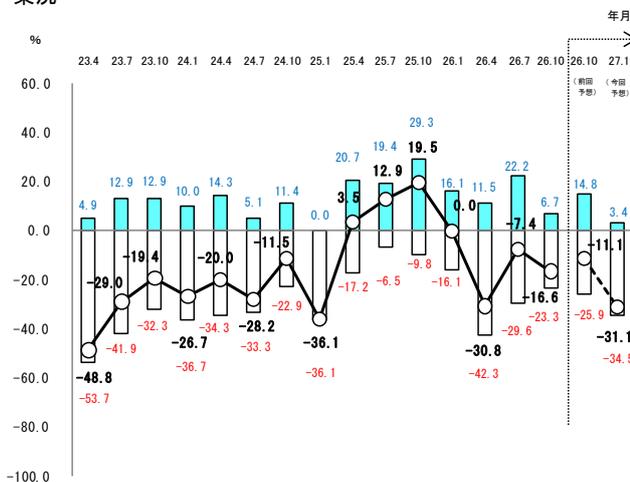


収益率

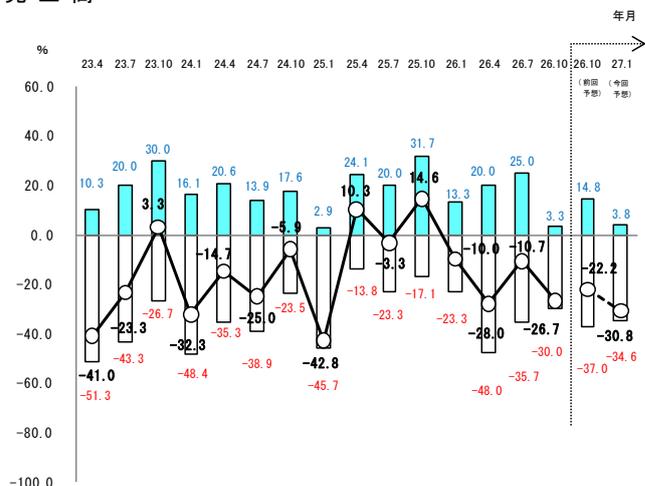


# ア 建設業

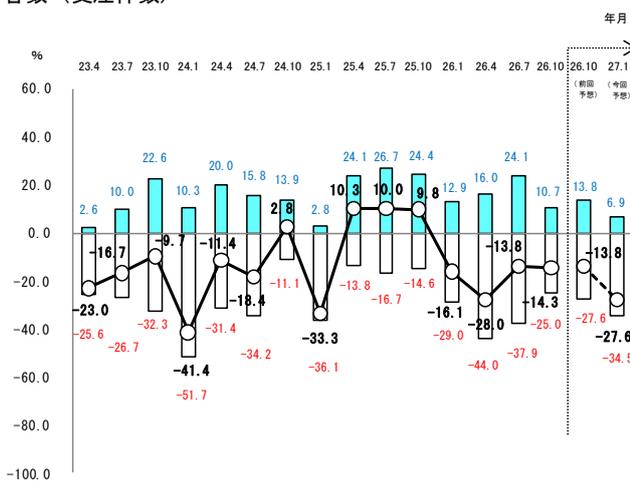
## 業況



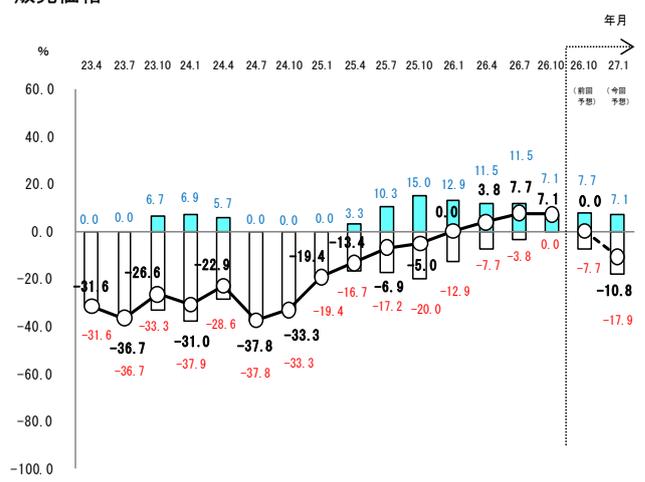
## 売上高



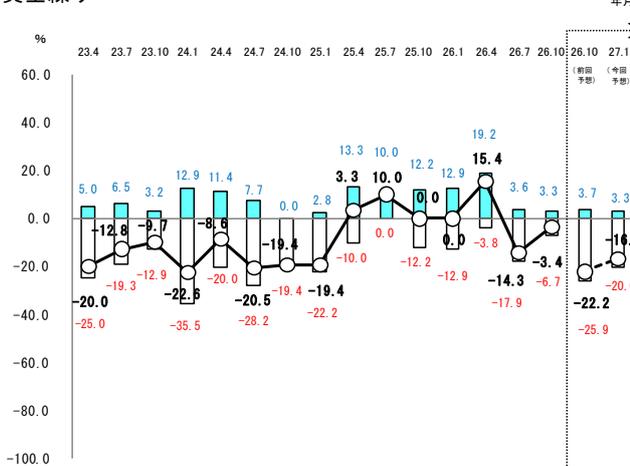
## 客数 (受注件数)



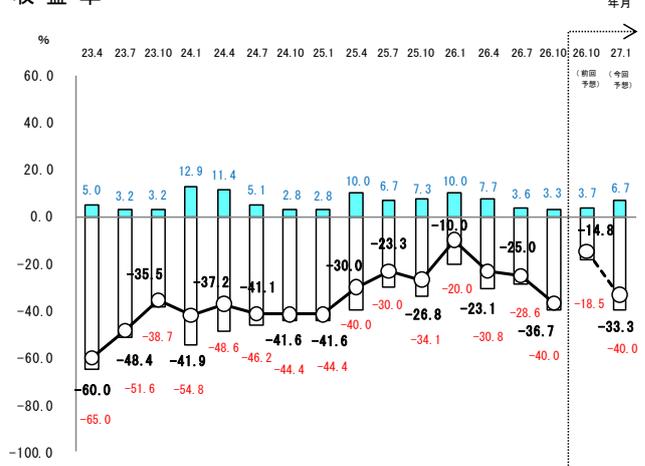
## 販売価格



## 資金繰り

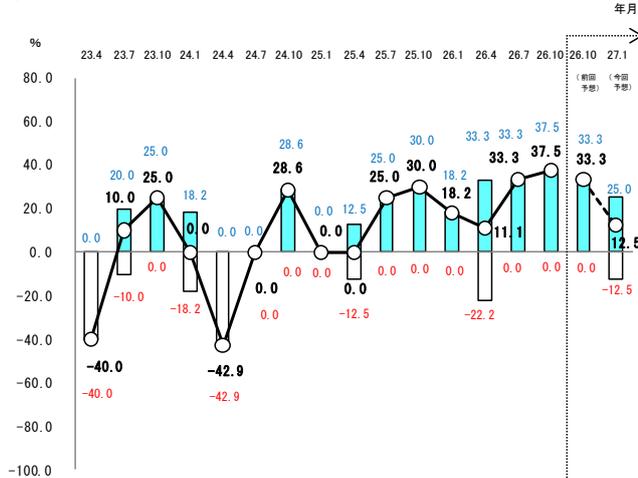


## 収益率

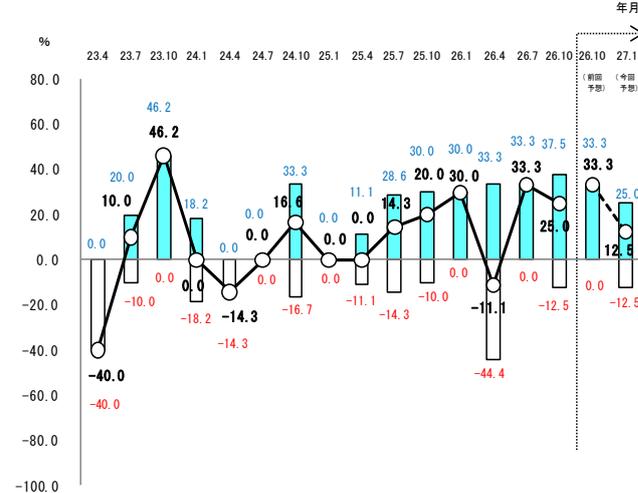


# イ 情報サービス業

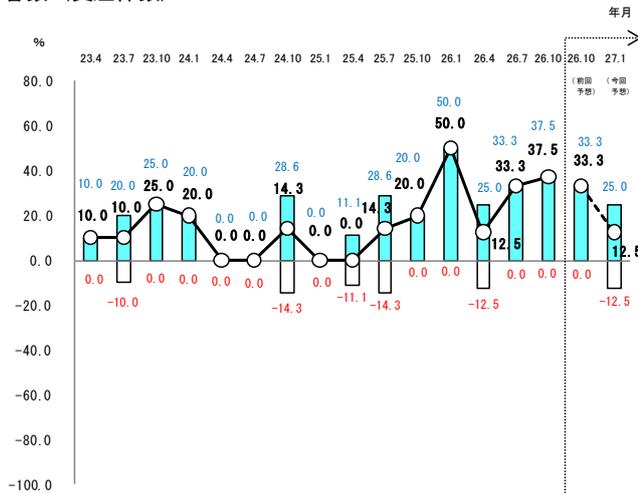
## 業況



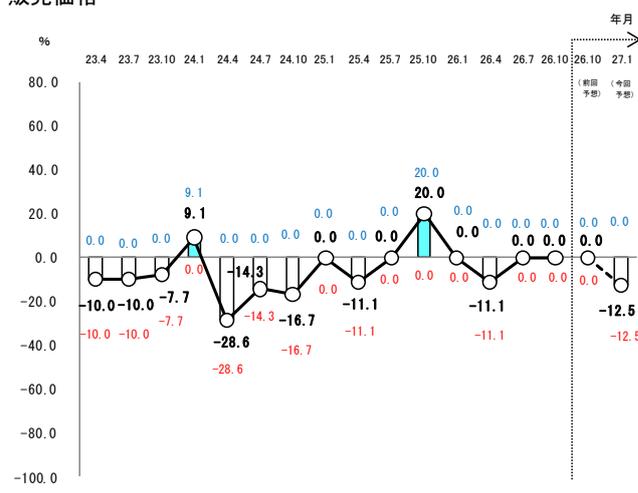
## 売上高



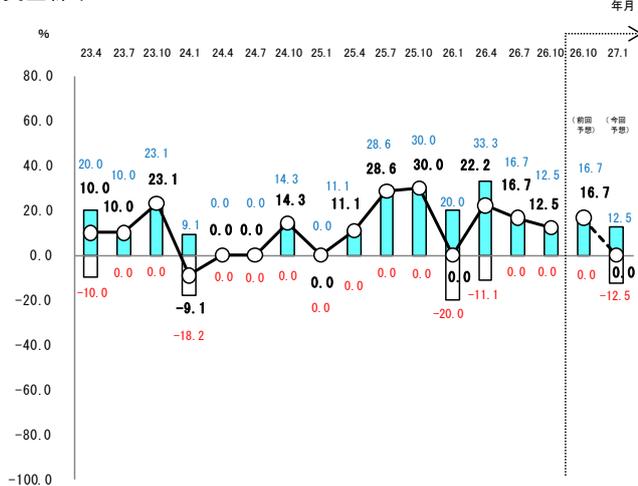
## 客数 (受案件数)



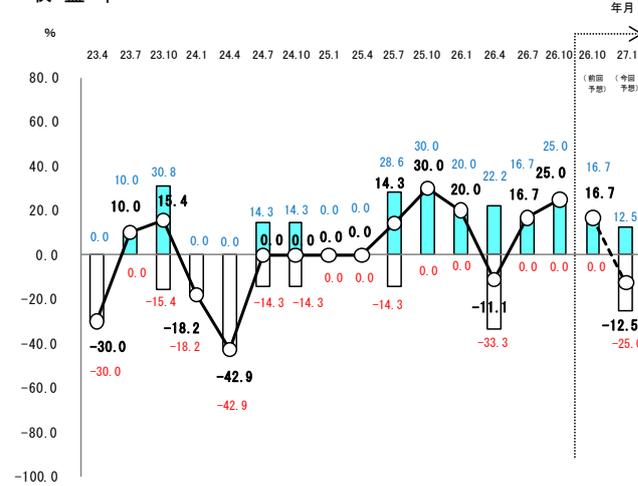
## 販売価格



## 資金繰り

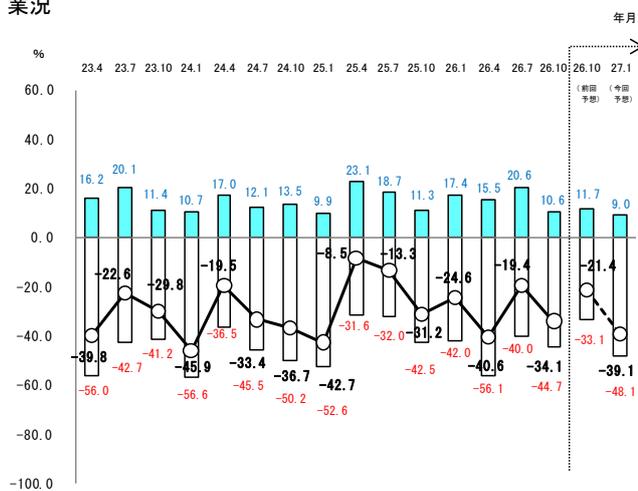


## 収益率

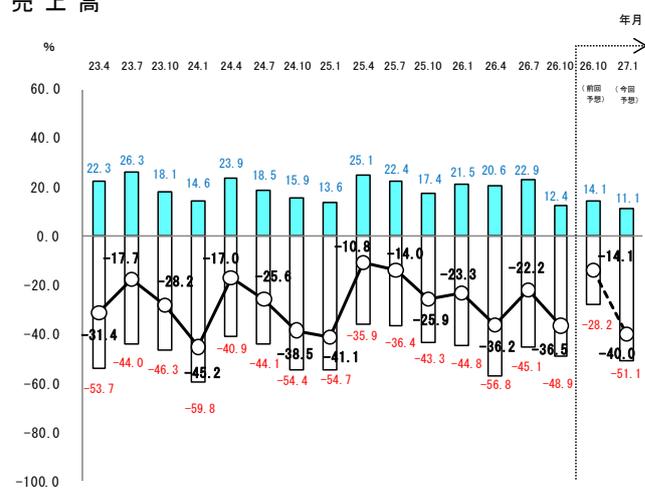


# ウ 小売業・卸売業

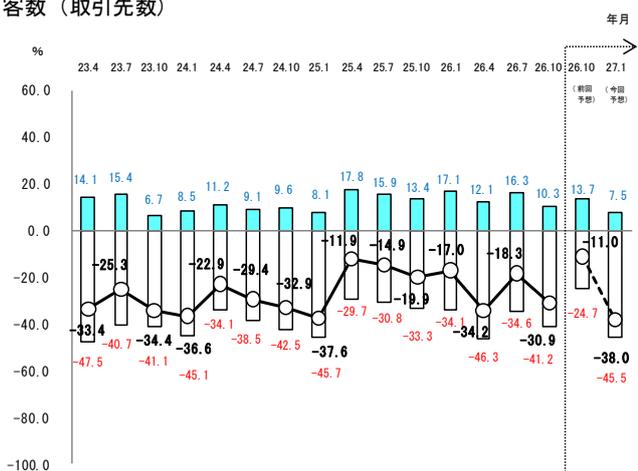
業況



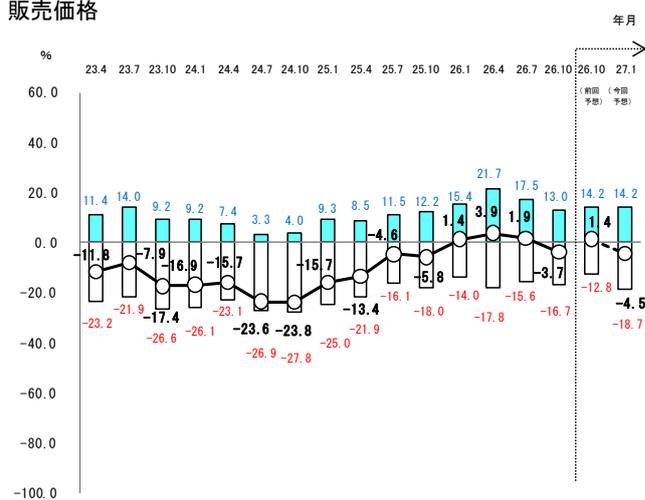
売上高



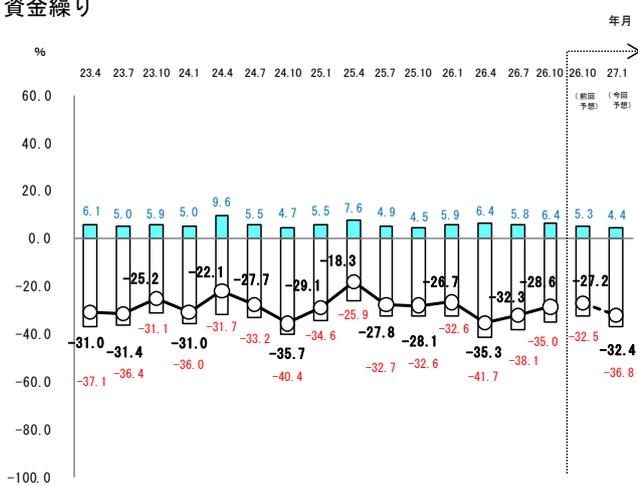
客数 (取引先数)



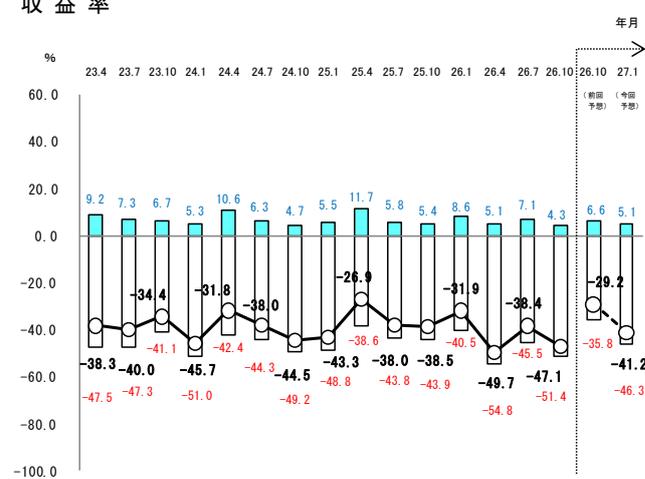
販売価格



資金繰り

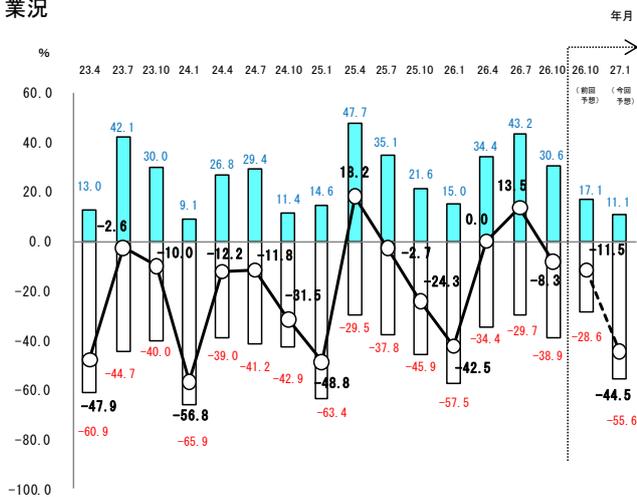


収益率

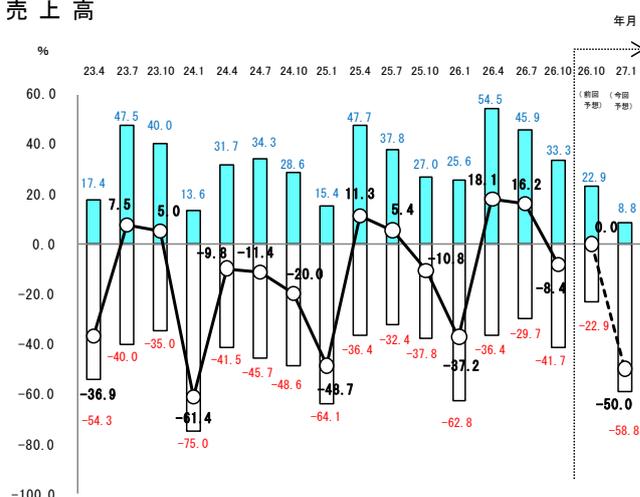


# 工 飲食業・宿泊業

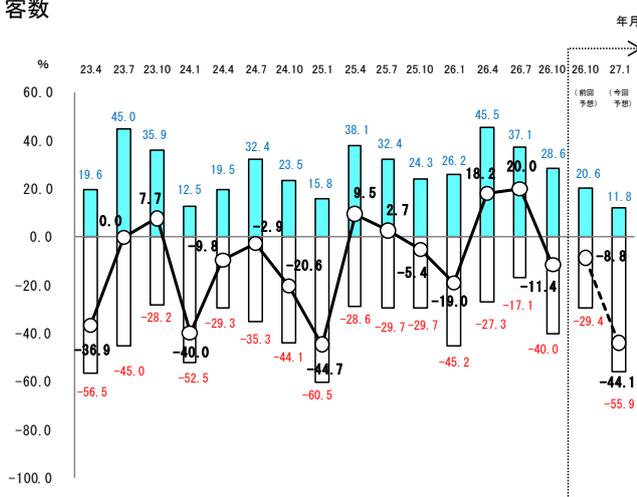
## 業況



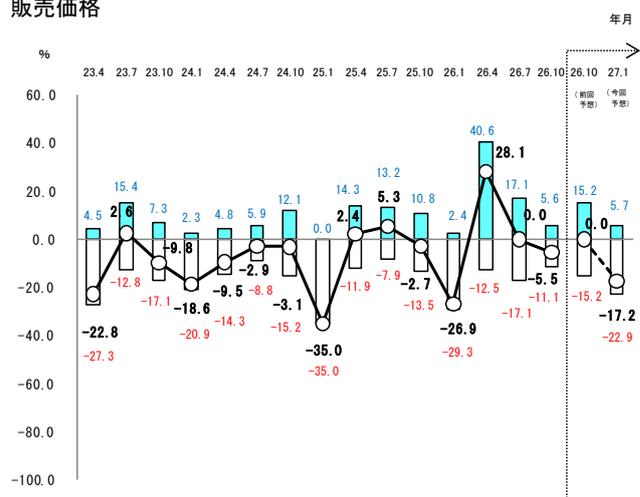
## 売上高



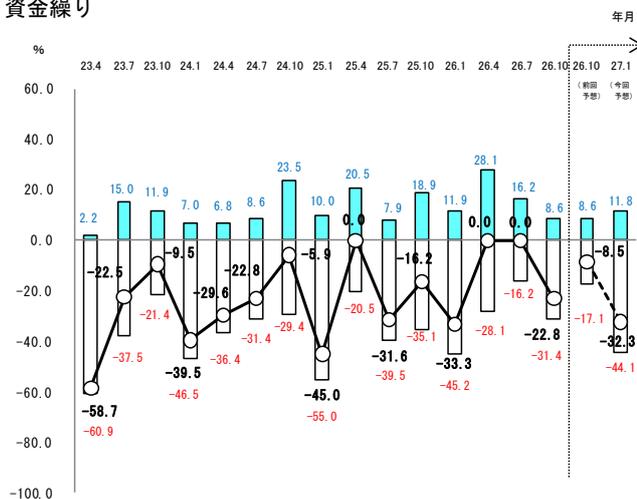
## 客数



## 販売価格



## 資金繰り



## 収益率

